

令和2年度 教育行政評価シート（自己評価） NO. 22

主要事業名	スポーツ活動，スポーツを通じた交流の推進					作成日	R3.5.21
						担当課名	スポーツ推進課
						担当者名	野口 浩二
事業の性質	法定受託 事務	自治事務 (義務)	○	自治事務 (任意)	○	市民サービス	管理経費
事業期間	単年度	年度繰返し		期間限定		建設事業	その他
						年度から	年度まで

1 事業の位置づけ

①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ				②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ			
基本方針	6	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進		基本目標	1	スポーツでつながるまちづくり	
体系項目	(1)	幅広い年代が楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進 他		基本政策	1	笑顔あつまるスポーツのまち 他	
個別施策	①	スポーツ事業の開催と体験する機会の提供 他		基本施策	1	スポーツ交流の推進 他	

根拠法令等	スポーツ基本法，第2期スポーツ基本計画（文部科学省）
-------	----------------------------

2 事業概要（Plan）

事務事業の概要・背景	生涯スポーツ社会の実現に向け，各種スポーツ大会及び健康づくり教室等の開催や地域スポーツ団体への支援など，市民のスポーツ活動を推進する。また，本市での茨城国体や東京2020オリンピックのサッカー競技開催を契機として，より多くの人々がスポーツに関心を持てるような機運の醸成を図る。
------------	--

目的（事業の目指すところ）	市民がスポーツに親しみ，健やかで明るい日常生活を送ることができるように，スポーツでつながるまちづくりを推進する。（スポーツ・運動の機会の充実を図り，市民の健康増進・地域コミュニティの充実・青少年の健全育成等を図る。）
---------------	--

目的達成のための手順	<ul style="list-style-type: none"> 鹿嶋市体育協会やかしまスポーツクラブ等と連携した各種スポーツ大会や教室等の開催 各スポーツ団体活動に対する補助金の交付（鹿嶋市体育協会，鹿嶋市硬式野球協会） ※体育協会には，各種競技連盟や協会，スポーツ少年団，かしまスポーツクラブ等が加盟。 スポーツ競技の全国大会出場者等に対する支援 地域における健康づくり教室等の開催 スポーツ関連情報の提供
------------	---

国・県・他自治体の動向，又は市民，その他の意見等	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として，国民，団体，企業等の「スポーツ」への関心がさらに高まっている。茨城県では，令和元年茨城国体開催を契機に，県民のスポーツに対する関心意欲の向上や，健康・体力の保持増進と競技力向上に取り組んでいる。一方で，新型コロナウイルス感染症により，さまざまなスポーツイベントが中止等を余儀なくされ，日常の運動やスポーツ活動スタイルが大きく変化している。
--------------------------	---

3 数値目標と実績（Do）

数値目標	目標内容	単位	R2年度 (実績)	R3年度 (予定・見込)	R4年度 (予定・見込)	R5年度 (予定・見込)	R6年度 (予定・見込)
		スポーツ指導者養成講座受講者	人	0	15	20	20
	成人スポーツ実施率	%	66	50	50	50	50

全体計画		R2年度 (決算額：千円)	R3年度 (予算額：千円)	R4年度 (計画額：千円)	R5年度 (計画額：千円)	R6年度 (計画額：千円)
投入コスト	事業経費					
	ト伝武道大会	0	700	700	700	700
	サッカーフェスティバル大会	1,675	2,200	2,200	2,200	2,200
	全国大会出場報奨金	510	1,420	1,420	1,420	1,420
	スポーツ振興事業補助金	4,540	4,635	4,635	4,635	4,635
	健康づくりスポーツ教室	150	150	150	150	150
	スポーツホームページ	132	132	132	132	132
	合計	7,007	9,237	9,237	9,237	9,237
財源内訳						
	国県支出金					
	地方債					
	その他(参加者負担金)					
	一般財源	7,007	9,237	9,237	9,237	9,237
従事職員数						
	正規職員（フルタイム勤務者）	5	4	4	4	4
	その他職員（再任用（短），嘱託職員等）	2	2	2	2	2

4 具体的施策評価 (Check)

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

具体的施策名	達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定		事業実施に直接関連する指標に係る評価 ※何を行ったか	成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか	執行工夫・日常業務改善の取組に係る評価	個別事業実績評価
	事業実施に直接関連する指標	成果に関する指標				
①スポーツ大会や健康づくり事業の開催 【比率: 70%】	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会を開催し、競技スポーツの振興を図る。 スポーツに関するイベントや教室等を開催し、市民スポーツの実践率向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル・ト伝杯武道大会(柔道・剣道) 高齢者スポーツの祭典 スポーツチャレンジ 各学区における健康づくり事業 	<ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル夏、冬開催に加え、7人制を新規開催:59チーム参加 健康づくり事業 30回 高齢者スポーツやスポーツチャレンジ、ト伝杯武道大会では、コロナ対策を検討(事前打合せ等)を実施。 <p>評価: B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症予防のため、各事業で感染予防対策を協議し、多くの事業で縮小することとなった。 <p>評価: C</p>	(評価をふまえた改善点) ・「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を基に、予防対策を行いながら一部の屋外スポーツ事業を実施した。	個別事業実績評価点: 38.5 [課題] ・スポーツ機会の減少に伴う市民の健康被害も懸念されるため、新たな生活様式やガイドラインを取り入れながらスポーツ活動の再開を目指す。
②スポーツ指導者の養成講座等の開催 【比率: 20%】	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ指導者として必要な知識を習得する機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> かしまスポーツカレッジの開催(10回講座) スポーツコンベンション(講習会)の開催 	かしまスポーツカレッジ、スポーツコンベンション(講習会)のコロナ対策を検討。	新型コロナウイルス感染症予防のため、すべての講演・講座を中止した。	(評価をふまえた改善点) ・外部講師を招くとともに、人との接触リスクが高いことから、参加者の安全確保が困難と判断し中止とした。	個別事業実績評価点: 9.5 [課題] ・対面での実技を伴う実習について、受講生同士が接触しない手法の検討が必要である。
③スポーツホームページの運用 【比率: 10%】	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ専用ホームページを開設し、市民がスポーツに親しみ、関心が持てるようなスポーツ情報を発信する。 	各スポーツ団体と連携した各スポーツ情報の充実 ・アクセス数20,000件(令和元年度18,890件)	各スポーツ団体と連携した各スポーツ情報の発信 ・アクセス数 4,969件	スポーツ大会等の減少により、各スポーツ情報が減少し、アクセス件数が減少した。 ・約14,000件減少	(評価をふまえた改善点) ・各スポーツ大会等の中止により閲覧件数が減少したことから、大会運営等に必要ツールであることを再確認した。	個別事業実績評価点: 4.75 [課題] ・大会運営等に活用されていることをふまえ、運用団体と協議しながら掲載内容や運用方法の見直しが必要である。

5 総合評価結果に基づく対応 (Action)

総合評価方法	具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0,B=0.65,C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。			合計点数	52.8	A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下	総合評価結果	B
実績	社会情勢や財政、他市での取り組みなどを考慮し、事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの事業の中止、また地域における市民スポーツ活動(公民館や競技団体等の活動)も休止・自粛等を余儀なくされる状況となった。国等の「スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について(2020年5月25日)」を基に感染症対策を行い、屋外のスポーツイベントを縮小開催することができた。							
充実、現状維持、見直し、休止・廃止	見直し	理由	新型コロナウイルス感染予防対策に取り組む中においても、運動・スポーツに取り組むことは、健康増進だけでなく、ストレス解消、自己免疫力を高めてウイルス性感染症を予防することにも役立つとされているため、以前とは異なる新しい運動・スポーツ実施の方法の見直しが必要である。					
課題	継続する場合、現状認識を踏まえた課題について記入してください。 地域におけるスポーツ活動において、スポーツイベント等の再開を呼びかける反面、人と人との接触を減らす取り組み(3密を避ける)やマスク着用などの新型コロナウイルス感染症予防対策の推進が重要である。少年団等のスポーツ活動について、保護者から感染症拡大への不安の意見と、青少年健全育成のための再開を求める意見で相違がある。							
改善策	課題に対する改善策について、期限や具体的な数値などを記入してください。 国等から提示された「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて」、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を基に、競技ごとに感染対策を講じスポーツ大会を開催する。							